

# 第341回難研セミナー

**演者：今川 和彦 先生**

東京大学大学院農学生命科学研究科  
動物育種繁殖学教室・助教授

**演題：胚性インターフェロン遺伝子の発現  
制御と着床**

**9月10日(金)15:00-16:30**

**難治疾患研究所 2階セミナー室**

今川和彦先生は、羊を用いて受精卵の子宮への着床の分子機構の解析をされております。先生の業績は、胚性インターフェロン遺伝子の発見にはじまり、胚特異的な核タンパク質やメチレーションなどによる本遺伝子の発現制御機構や、胚性インターフェロンが母体側に及ぼす影響の解析へと広がりを見せています。

今回は、ヒトやマウスにおける着床過程の話を交えて、羊の着床における胚性インターフェロン遺伝子の機能や、母体ケモカインや胚性インテグリンの発現を介した着床過程の制御についてお話しをしていただきます。

連絡先：本セミナーはゲノム応用医部門エピジェネティクス分野(石野教授)と形質発現分野(萩原教授)の共催です。連絡は内線 8072 の石野までお願いします。